

地域実践活動事例報告シート

平成28年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) 北海道建築士会 室蘭支部青年委員会 事業名 ふれあい木工教室

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

●企画運営団体 上記建築士会名 その他(室蘭市立青少年科学館共催)

●活動の背景
 青年会員数減少により数年前より途絶えていたふれあい木工教室であったが、市民との建築を通しての繋がりを再構築させたかった為、少人数ではあったが開催することを決定した。

●活動目的
 室蘭市立青少年科学館共催「ふれあい木工教室」を通して近年木材に触れることがない子供達に、簡単な図面の見方、加工の仕方、組立方等物作りの楽しさを体験してもらい、未来の建築士を育てる事、または建築士のイベント等に興味を持ってもらう事を目的とする。

●活動内容と成果
 平成30年1月6日(土)に室蘭市立青少年科学館3Fにて開催。 制作物 鳥の巣箱
 材料はあらかじめ(有)高橋建設加工場で板厚を削り落とし、当日の作業は子供達が図面を見て、長さを測り木材を切断、組立する事としました。運営側はあくまでもサポートとして、子供または親子が中心となって製作してもらいました。木材を縦(繊維方向)に切断する事や、壁板の固定など苦戦もしましたが、和気藹々としてとても良い雰囲気で開催する事が出来、作業後はちびっ子建築士免許証を渡しました。作り終わった巣箱を冬休みの工作にしたり、帰ってから家の庭に飾ってくれたりしてくれました。何より自分で作った巣箱を見て皆誇らしげでとても楽しそうでした。今回の「ふれあい木工教室」は定員10名に対し30名位の応募があったことからとても興味があったイベントだと思います。科学館の担当者からもとてもハイクオリティーな巣箱だと絶賛されていました。また科学館の方からは是非このようなイベントであれば毎年科学館で開催して欲しいとの嬉しいお言葉も貰い、子供達も物作りの楽しさ、建築士のイベント等にとっても興味を持ってもらえてようです。

●集客方法
 室蘭市広報により集客

●活動収支

収入	-				支出	50,000
----	---	--	--	--	----	--------

●来場者

運営側	建築士会		科学館	計	参加者	児童		保護者		計
	9	3	12	10		8	-	-	18	

連携・協力組織 室蘭市立青少年科学館・市内建設業者・建築士会会員



写真①



写真②

●今後の課題
 今後は、より魅力的な作品を提案し、沢山の参加者を募ると共に、運営側の会員以外の参加者を積極的に募り、より多くの人たちに物作りの楽しさを伝えたい。

●今後の計画
 平成31年度も継続で実施予定です。会員以外の参加者をより多く募集する為に、支部だよりや会員による声掛け、SNSによる周知、市内学校等の関係機関と実施時期や内容等の密な調整を行い、「ふれあい木工教室」の規模を拡大させて行きたいと思えます。

問い合わせ先 北海道建築士会 室蘭支部青年委員会 担当者 高橋 友樹
 連絡先 TEL 0143-23-3693 FAX 0143-24-4511 e-mail taka-tomo3693@honey.ocn.ne.jp
 ホームページアドレス

地域実践活動事例報告シート

平成30年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社)北海道建築士会 日高支部 事業名 ミニ建築のお仕事体験in新ひだか

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

●企画運営団体 上記建築士会名 その他()

●活動の背景
 地域における建築士の担い手不足が課題となっている。

●活動目的
 建築士の仕事や建築士会活動をPRするとともに、将来を担う子どもたちに、「建築士」に夢や憧れを抱いてもらう。

●活動内容と成果
 8月18日(土)、新ひだか町立こうせい児童館において、『ミニ建築のお仕事体験in新ひだか』を開催。内容は「パズルでおうちをかんがえよう」と題し、地元建築士サポートのもと敷地が描かれた用紙に部屋や家具などを選びシールを切り貼りし、あるおばあちゃんが望む間取りを考えてもらう。運営側として建築士会会員13名、参加者として子ども9名が参加。子どもたちと近い距離で触れ合うことができ、会員として『見える』活動ができた。

●集客方法
 対象者全員に応募用紙を配布。

●活動収支

収入	なし							支出	86,649円
----	----	--	--	--	--	--	--	----	---------

●来場者

運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
	9	0	9		0	0	0	13	13

連携・協力組織



写真① イベント開催の様子



写真② 駄菓子片手を片手に集合写真

●今後の課題
 ゼロから間取りを考えることが難しく、特に小学校低学年の子どもたちには負担が大きかった。

●今後の計画
 同レベルでの事業を継続し、日高管内他の自治体での開催も検討。

問い合わせ先	日高支部青年委員会	担当者	亀田 誠
連絡先	TEL 0146-49-0328内線263	FAX 0146-43-3900	e-mail kensetu@shinhidaka-hokkaido.jp
ホームページアドレス			

北海道建築士会青年委員会 活動事例報告シート

平成30年度	<input type="checkbox"/> 道央ブロック <input checked="" type="checkbox"/> 道南ブロック <input type="checkbox"/> 道東ブロック <input type="checkbox"/> 道北ブロック					
支部名	函館支部	事業名	木で遊ぼう！マイはし作りin湯倉の杜			
●活動の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域貢献 <input type="checkbox"/> スキルアップ <input type="checkbox"/> 仲間づくり					
●主催団体	<input checked="" type="checkbox"/> 青年委員会 <input type="checkbox"/> その他 ()					
●活動組織の概要（青年委員会の人員・事業予算・事業方針）	・人員 10名 ・事業予算 80,000円 ・事業方針 地域の子供たちや親御さんに建築士や建築士会の活動を知ってもらう。					
●活動目的	建築士の仕事や建築士会活動を一般市民にPRし将来を担う子どもたちに「建築士」に夢や憧れを抱き箸を作るという過程においてもものづくりの楽しさの気づきを得られるよう事業を開催しています。 地域貢献 青年委員会の絆づくり					
●活動内容と成果	<p>【内容】函館 湯の川温泉発祥の地 湯倉神社。ここで毎年、夏至の日に合わせ湯倉の杜というイベントが行われています。これまで、我々函館支部が行ってきたはしづくりイベントは地域にも周知され始めたところですが、今回神社主催イベントから参加依頼を頂きました。開催状況は、開始と同時に長蛇の列が出来る大盛況となりました。ものづくりの楽しさ、デザインすることの楽しさ、木という資源の大切さ、ものを大事にするという気持ち、箸という道具の素晴らしさ、また箸という道具を生み出した日本文化の素晴らしさ等々を建築士を通して少しでも伝えることができたと思います</p> <p>【成果】成果としては、箸が完成した子供たちのうれしそうな姿を見ることが出来、神社へ集う地域の子供たちの育成へのお手伝いが出来たと感じています。神社イベント主催者からも大変喜ばれ、次年度の参加依頼をいただきました。</p>					
●活動収支	80,000円					
●参加者	青年建築士	一般会員	一般建築士	保護者	子ども	合計
	10名			50	60	120名
連携・協力組織	湯倉神社 湯倉神社氏子青年会					
						
写真①			写真②			
●今後の課題	課題としては、工程に時間がかかり待ち時間が多くなってしまった事、時間と参加出来る人数には限りがありますが多くの方に参加していただきたいため、開催規模や人員配置を見直すことが必要だと感じました。					
●今後の計画	恒例行事のように地元の方に認識してもらえるよう定期的に開催する。一緒に活動できる仲間づくりをしていきたいと思ひます。					
問い合わせ先	(一社)北海道建築士会 函館支部青年委員会			担当者	林 裕馬	
連絡先	TEL 0138-27-6858		FAX 0138-27-6859	e-mail	vuuma1214427@gmail.co	
ホームページアドレス						